

研究主題

自分たちで考えよう 自分たちで成し遂げよう

～特別活動の工夫を通して～



立川市教育委員会教育長 小町 邦彦

挨拶

立川市立幸小学校 校長 野口 知義
はじめに

立川市立幸小学校におかれましては、平成25・26年度立川市教育委員会研究協力校の指定を受け、「自分たちで考えよう 自分たちで成し遂げよう～特別活動の工夫を通して～」を研究主題として掲げ、学級活動を中心に自主的、実践的な態度を育てていく研究を進めてこられました。

幸小学校では、自分たちで考え、自分たちで成し遂げる児童を育てていくために、「見通し」をキーワードとして、話し合い活動の流れに見通しをもたせるための司会台本、学級会ノートの活用など手だてを工夫してきました。学習指導要領の特別活動の目標の中に、「集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」とあるように、全教職員が組織的に取り組んだこの2年間の研究は、大変価値あることです。

野口知義校長先生はじめ、幸小学校の先生方に感謝申し上げますとともに、日頃より様々な教育活動にご理解・ご協力いただいております保護者や地域の皆様方に改めて感謝申し上げます。本研究により、幸小学校の教育活動がますます発展することを祈念し、挨拶といたします。

本校では2年間にわたり特別活動の中の学級活動を主として研究を進めてきました。上記の主題を設定する中、研究授業では、話し合いの活動の中で子どもたちが「学級がよくなるためにどうしたらよいか」を真剣に話し合う場面が見られました。お互いの意見を聞き合い、折り合いを付け、自分たちで決めていくプロセスは学級活動の目標である自主的、実践的な態度の育成につながっていると考えます。子どもたちは話し合いが好きになり、以前に比べ、一人一人が学級での生活を楽しんで活動するようになりました。

次期の学習指導要領では、授業スタイルが「課題を設定して議論しながら解決策を探る」アクティブラーニングに代表される能力の習得に転換していきます。本研究は児童の「主体性」「課題解決力」を追い求めてきました。研究の成果は21世紀型スキルの一つにもつながると考えます。

研究はまだ発展途上ではありますが、さらに研究を深めていくために皆様からご指導、ご助言をお願いします。

最後になりますが、本研究につきましてご指導をいただきました本市教育委員会の皆様、懇切丁寧なご指導をいただきました藤縄清先生はじめ、鹿海治先生、野村みや子先生に心より感謝申し上げます。

平成27年1月30日（金）



立川市立幸小学校



研究構想図

社会の要請

規範意識、社会貢献、生きる力

保護者の願い

思いやりの心、自律、努力、豊かな人間性

学校教育目標

- ◎自分で考え行う子ども
- ねばり強くやりぬく子ども
- なかよく力を合わせる子ども
- 心と体をきたえる子ども

児童の実態

児童はとても素直で進んで挨拶をするなど、学校をよりよくしていこうとする姿が見られる。しかし、主体的に考え、新しいことを提案したり、活動に移したりすることはなかなかできない。

【研究主題】

自分たちで考えよう、自分たちで成し遂げよう

—特別活動の工夫を通して—

目指す児童像

<低学年>

◇学級生活を楽しくするために、進んで活動する子

<中学年>

◇学級が良くなるために発信し、楽しんで活動する子

<高学年>

◇集団の一員としての自覚をもって、自分の役割を果たそうとする子

各学年の目指す学級会

ハーフ&ハーフ。最初は教師が主導で行い、決まったことを即実践し、「学級会って楽しい、自分たちで決め、実践するのは楽しい」と感じることができる学級会

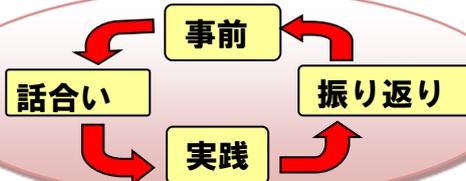
司会グループの役割の理解と意見の出し方を理解し、自分たちで考え・決める学級会

お互いの意見を聴き合い、折り合いを付けてみんなで決定することができる学級会

研究推進部

- ◆研究の推進
- ◆研究授業司会
- ◆授業の記録

幸小学校の学級活動



環境整備部

- ◆学級会グッズの充実
- ◆年間計画の見直しと作成

研究の方法

授業研究

- ◇年間 6 回の研究授業 各学年 1 回
- 授業の様子、観察記録
- 学級会に至るまでの事前指導

年間計画の見直しと充実

- ◇学級活動の年間計画
- ◇委員会活動・クラブ活動年間計画

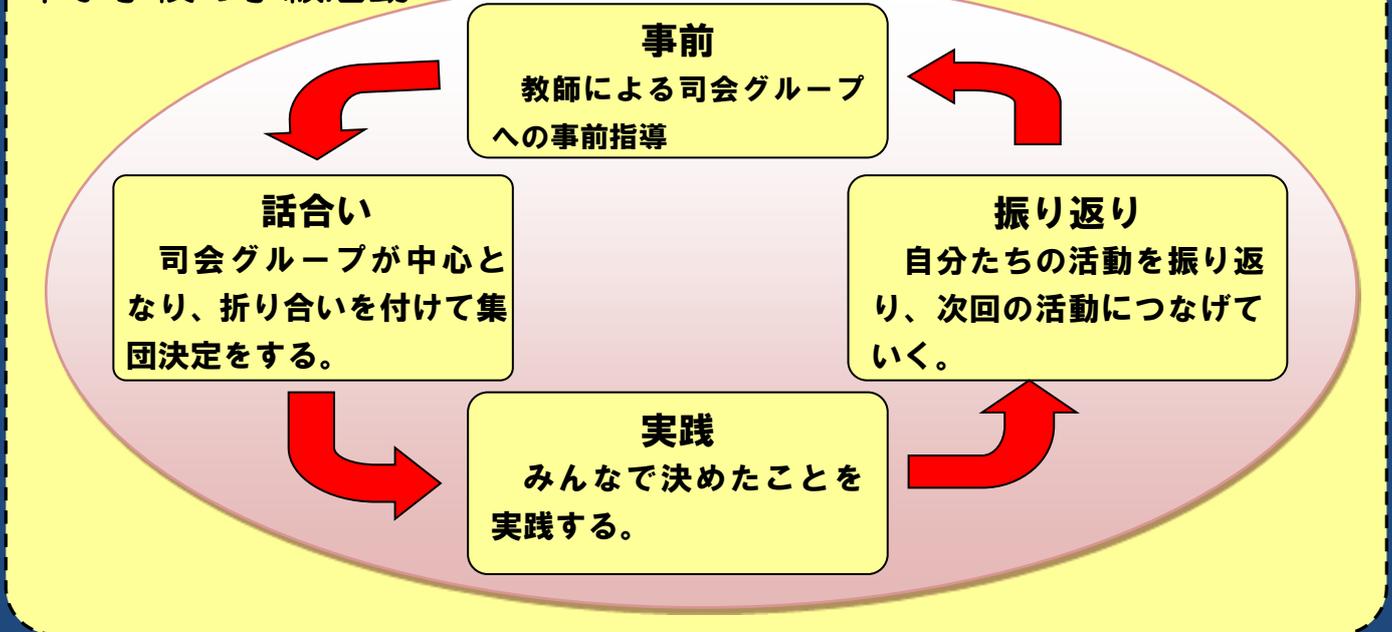
特別活動部との連携

- 平成 26 年度に向けて
- ◇幸フェスタの土曜日実施
- ◇委員会年間計画の活用
- ◇特別活動部と研究推進部の融合

基礎研究

- ◇文献研究・・・学習指導要領解説（特別活動編）
 - ◇講師を招いた勉強会・・・講演
- ⇒特別活動の基礎・基本の理解 児童相互の望ましい姿を明確にもつ

幸小学校の学級活動



そのために

キーワード 見通し

児童が「自分たちで考え、自分たちで成し遂げる」ということは、全てを児童に任せると
いうこととは違います。自分たちの活動にはどのような条件があるのか？自分たちの活動の
先には何があるのかを理解することができた時、児童は自ら動き出します。以下の4つの見
通しをもつための取り組みをすることにより、幸小学校の目指す児童像につながると考えま
した。

話し合い活動の流れに

見通しをもつ

- 司会台本→司会が話し合いの流れをつかむ。
- 学級会ノート→児童が活動を振り返る。
- 視覚的な板書(学級会グッズ)

自分たちの成長に

見通しをもつ

- 「できるようになったこと」コーナー
→活動の評価(学級活動を通して成長したこと)
- 各学級の取り組み掲示板
→各学級の活動(学年を越えて)を交流する。

自分たちの学級活動の

見通しをもつ

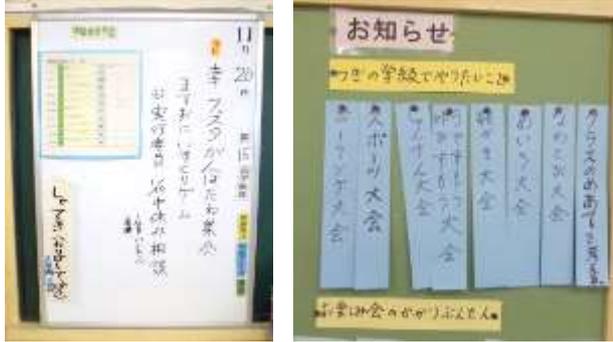
- 学級会コーナー
→次回の学級会予定 司会グループ表
学級活動の計画 前回決まったこと

委員会活動・クラブ活動の

見通しをもつ

- 委員会活動・クラブ活動掲示板
→次の活動の予定について
- 委員会活動・クラブ活動年間計画
→教師が見通しをもって指導にあたる。

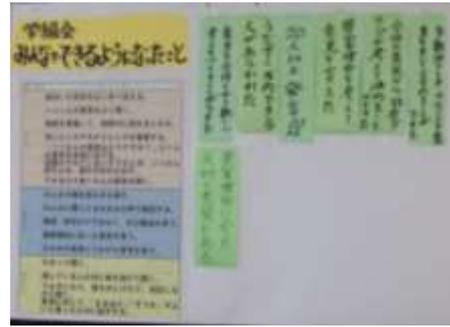
学級会コーナー



- ◆ 次回の学級会の予定
- ◆ 司会グループのグループ表
- ◆ 学級活動の活動計画

⇒各学級に学級会コーナーを設置し、子どもたちが活動に見通しをもつことができるようにした。

「できるようになったこと」コーナー

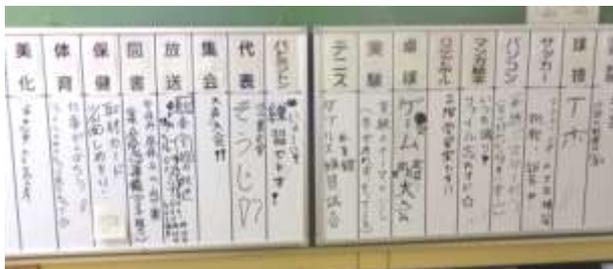


- ◆ 児童に目指してほしい視点
- ◆ 活動の評価（学級活動を通して成長したこと）

⇒児童が「こんなことを意識して学級活動に参加する」という見通しをもつこと。そして、「提案理由に沿った意見を言えた。」「困っている人を助けてあげた。」など、自分や友達の成長を知り、クラスとしての成長・まとまりを確認できるようにした。

委員会活動・クラブ活動掲示板

職員室前の掲示板を活用し、委員会活動・クラブ活動の予定などについて掲示する。



次回の活動に向けたお知らせや必要なことについて、教師と児童が話し合い、記入する。
⇒児童が次の委員会活動やクラブ活動に向けて見通しをもって準備を進めたり、活動への新たな視点をもったりすることができるようにする。

各学級の取り組み掲示板

踊り場の掲示板に各学級の取り組みについて画用紙一枚にまとめ掲示する。



<掲示する内容例>

- ・ 運動会のスローガン
- ・ 幸フェスタのお店紹介
- ・ 学級活動の様子

⇒児童がお互いの学級の、行事に対する取り組みの様子や学級活動での議題・活動の内容について交流し、自分の学級に生かしていこうとする態度を育てていく。

年間計画

学級活動や委員会活動の年間計画を作成し、教師が見通しをもって指導に当たることができるようにした。

月	学級活動計画	委員会活動
4	● 運動会に向けた準備活動、学級の心を育てよう(1)	● 運動会に向けた準備活動、学級の心を育てよう(2)
5	● 運動会に向けた準備活動、学級の心を育てよう(3)	● 運動会に向けた準備活動、学級の心を育てよう(4)
6	● 運動会に向けた準備活動、学級の心を育てよう(5)	● 運動会に向けた準備活動、学級の心を育てよう(6)

1 ねらい	学校生活の花実と向上を目指すために、体力向上やお喜びの運動、ボールや一輪車などの体育に関する用具や器材のための自主的・実習的な活動を行う。	
2 特徴	【関心・意欲・態度】	【思考・判断・実働】
3 活動内容	◎ 話し合いの時間は原則として、毎月第2次曜日の午後とする。	

各学年の学級活動

低学年の学級会

ハーフ&ハーフからスタート。最初は教師主導で行い、決まったことを即実践して、「学級会って楽しい。自分たちで決め、自分たちで実践することは楽しい。」と感ずることができる学級会。

1年生

1年生の学級会のポイント

○司会グループ

初めは教師主導で行う。2学期から少しずつ司会グループで役割分担をして行う。教師は隣でアドバイスをする。

○ハーフ&ハーフ

1時間の半分でやりたい遊びを決め、残りの時間ですぐ実践。決めたことをすぐやることで、学級会の楽しさを実感することができる。

【実践例】

司会グッズも気分を盛り上げます。



司会グループが司会をしています。教師も隣から見守り、アドバイスします。



どの宝を隠そうかな。

宝探しに決まりました。すぐに準備して遊びます。



2年生

【実践例】

2年生の学級会のポイント

○司会グループ

司会は、司会グループが行う。事前に司会グループと役割分担の打ち合わせを行う。→話合いが進まないことも大切な経験ですが、困ったときは、司会グループに教師が助言をする。

○学級会振り返りノート

2学期後半から学級会の振り返りのプリントを活用し、実践の振り返りをし、今後に生かしていく。



司会グループが司会を行います。時々、教師がアドバイスをしに来ることもあります。



みんな、積極的に手を挙げて発言しています。

決めた遊びで、楽しくお楽しみ会をしました。

中学年の学級会

司会グループの役割の理解し、意見の出し方や聞き方を考え、自分たちで考え・決める学級会

3・4年生

中学年の学級会のポイント

○司会グループ

事前指導で、司会グループの役割の決定、台本をもとに、話合いの流れを確認する。出てきそうな意見や収束方法をアドバイスする。

○本時は児童に任せる

話合いがうまくいかないことも大切な経験。しかし、どうしてもうまくいかない時には教師が建設的な助言を行う。

○学級会の取り組みを自己評価

学級会ノートを活用し、自分たちの話合い活動を自己評価する。また、ノートへの記述を教師が評価し、次の活動への意欲を高める。

【実践例】



司会グループを中心に話合いを進めます。困った時には教師がアドバイスをすることもあります。



決まったことを実践します。みんなで決めたクラスのシンボルマーク



時には、意見のよいところを合わせて、全員が納得できるようにします。

高学年の学級会

よりよい決定のために、お互いの意見を聴き合い、折り合いを付けて一つのものを決定することができる学級会

5・6年生

高学年の学級会のポイント

○司会グループ

事前指導で、予想される意見を考え、どのように学級会を進めるか話し合う。

○司会台本に頼らない

司会台本から離れて、自分たちで話合いを進められるように指導する。

どうやって話合いをまとめるか意識しながら学級会を進める。

○折り合いを付ける

クラスのため学校のためを考えよりよい方法が何かを皆で話し合い決定する。

【実践例】



司会グループが学級会の流れを考え、会を進めます。不測の意見にも臨機応変に対応します。



皆の意見を調整しながら、折り合いをつけます。

決定したことを実践します。反省をして次に生かします。

成果と課題

成果

児童が変わった

低学年

- ☆学級会をすることが当たり前になり、楽しい実践を目標に自分たちで話し合う意欲が高まった。
- ☆自分たちで決め、実践することを通して、お楽しみ会などの集会活動も「自分たちでできそうだ」という自信が付いてきた。

中学年

- ☆話し合いの中で「友達のアイデアのよいところを見付けよう」という意識が育った。
- ☆自分たちで決定したことに対して、集団として責任をもって実践活動に取り組む姿が見られるようになった。

高学年

- ☆司会台本を離れ、工夫して進めようとする姿が見られるようになった。
- ☆学級会の見通しをもち、学級会を楽しみにしている姿が見られるようになった。
- ☆自分たちで決めたことはみんなで成し遂げるといふ集団としての意識が高まった。

教師が変わった

- ☆自主的・自治的な活動を行わせるためには、何を教師が決め、何を児童に任せるのかを明確にし、活動に向かうことの大切さを知った。
- ☆学級活動を円滑に行うための見通しを講師がもち、計画的に進めることの大切さを理解した。
- ☆学級会の中ではあくまでも児童が主役。児童が決定、実践する。一人一人が「自分たちで決め、自分たちでやり遂げた」という意識を育てることを大切に思うようになった。

課題

- ★司会グループが事前に自分たちで行動していく姿勢を育てること。
- ★児童の間で、活動の輪から外れてしまう子に声をかけたり、励ましたりする姿勢を育てること。
- ★学校の特別活動の計画を様々な活動と連動したものとし、学校全体としての特別活動を創り上げること。

お世話になった講師の先生方

元東京都特別活動研究会会長 藤縄 清先生
元東京都特別活動研究会会長 鹿海 治先生
前武蔵村山市教育センター教授 野村 みや子先生



お礼 副校長 町田浩一

このたび、2年間の研究の成果をこのように発表することができました。このような成果をあげることができたのも、これまで丁寧にご指導いただきました藤縄清先生、鹿海治先生、野村みや子先生をはじめとする多くの方々のおかげです。ご指導・ご支援ありがとうございました。

今回の研究発表は一つの通過点に過ぎません。私たち幸小学校の教職員一同、さらなる向上を目指していきたいと思います。そのために、今回ご指導いただいたことを大切に、自分たちで考え、自分たちで成し遂げる児童の育成にあたっていきたいと思います。

<研究に携わった教職員（○印は特別活動研究部員）>

校長 野口 知義	副校長 町田 浩一				
1年 ○遠藤 葉子	3年 ○川上 叔美	5年 ○吉岡 慎一	音楽 ○佐藤 未希子		
高橋 菜子	関 洋平	後藤 葵	図工 ○曾我 香		
2年 ○川口 翼	4年 ◎小泉 友	6年 田中 英海	算数少人数 野村 裕久		
浅見 登志子	松元 優子	○溝下 貴之	養護 七戸 藍		
			非常勤教員 増田 博子		

平成25年度

上村 一美（校長） 田中 義典 大山 聖絵 佐藤 礼子 浅利 理恵子 山本 千鶴